



学ぼ～よ（厚陽小中学校）

厚陽小中学校では、子どもたちと大人と一緒に学ぶ『学ぼ～よ』が4年目を迎えました。この日は、小学5年生で国語、小学6年生と中学1年生が合同で英語、中学3年生で英語の授業が公開されました。英語の学習では、地域の方の他に山口東京理科大学の学生とALTも参加して、とても楽しく活発な英会話になりました。授業後には、図書館で英語絵本の読み聞かせや児童生徒と地域の方との交流の場である『ほっとカフェ』も行われ、多くの児童生徒が参加し楽しんでいました。小中一貫校の強みを生かした取組になりました。



放課後スタディールーム（埴生中学校）

埴生中学校のテスト週間の放課後に、埴生地域交流センターで『放課後スタディールーム』が開催されています。これは、地域学校協働活動推進員の提案で昨年度から始まった自主学習の場です。この日は、地域の方の他に山口東京理科大学の教育研究サークルの1年生6名もボランティアで参加しました。生徒と大学生は初対面にもかかわらず、すぐに打ち解けて質問したり答えたりしていました。生徒は、英語の定型文や連立方程式の解き方などについて教えてもらって、大学生の説明が分かりやすかったと話していました。



生徒総会（厚狭中学校）

「学校生活について意見を出し、よりよい学校づくりをしよう」と生徒会会長があいさつして、厚狭中学校の生徒総会が始まりました。はじめに、今の時代にあうように校則を見直すという観点から、中学生らしい髪型については清潔感があること、授業に集中しやすいこと、派手にしないことが大事であるなど、活発に意見が出ました。次に、個性を発揮できる場をつくるためには、やりたい者が実行委員会を立ち上げて、まわりは実現に向けて協力するというにまとまり、生徒会のキーワード「自主性」が感じられました。

